

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

川崎冷蔵株式会社

銘柄コード	非上場企業につきなし
法人番号	4020001067603

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	47	倉庫業
細分類(申請事業)	472	冷凍倉庫業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	43,113	GJ	1,112	kL
前年度エネルギー総使用量	/		□□□□	kL
非化石エネルギー総使用量			□□□□	GJ
調整後温室効果ガス排出量	□□□□□	t-CO <sub>2</sub>		

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位(2023年度実績)	□□□	原単位分母 ■(トン)			
主たる事業の構成割合	□□.□ %				
事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)	□□.□				

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量			
Jクレジット	□□□□□			t-CO <sub>2</sub>
-	-			t-CO <sub>2</sub>
-	-			t-CO <sub>2</sub>
-	-			t-CO <sub>2</sub>

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方にに基づき各事業者が決定したものを。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位(2023年度実績)	□□□	原単位分母 ■(トン)			
DR実施日数	□□				
事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□
事業者全体の5年度間平均原単位変化	□□.□				

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	0.0%				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	/	/	/	0.0

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分	■	■	■	■	■	業
目指すべき水準	□□.□		kL/t以下			
ベンチマーク指標の状況	達成					
ベンチマーク区分	■	■	■	■	■	業
目指すべき水準	□□.□		kL/t以下			
ベンチマーク指標の状況	未達成					
ベンチマーク区分	-	-	-	-	-	-
目指すべき水準	-					
ベンチマーク指標の状況	-					
ベンチマーク区分	-	-	-	-	-	-
目指すべき水準	-					
ベンチマーク指標の状況	-					

目安設定業種	■		■			業
目安(2030年度)	【指標】●●●●●に向けた取組による、2030年度における●●●●●の●●●●●に占める●●●●●の割合。 【目標となる水準】□□%以上					
目標(2030年度)	□□%					
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	/	/	/	/	□□%	
目安設定業種	-		-			
目安(2030年度)	-					
目標(2030年度)	-					
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	/	/	/	/	-	

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

5月から10月にかけて外気温が高い時間帯に、冷凍機コンデンサーへの散水作業や、直射日光を遮断するブラインドを設置することで、冷凍機吸入温度や凝縮温度を大幅に下げること、電力使用量の削減を実施しております。他にも、夏季の電力ピーク時間帯(13時から16時)での、冷凍冷蔵倉庫内の温度を入念に観察しながら、冷凍機のきめ細やかで高効率な稼働調整を図ることで、東京電力(株)の電力製造供給調整策へ寄与させていただいております。その他、通年にわたり、冷凍機稼働のタイムスケジュール運転を実施させていただいており、冷凍冷蔵倉庫内の厳格な温度管理のもと、電力使用量と庫内温度のバランスを熟慮した運転を行っており、一人一人が高い意識を持ち、全員一丸となって取り組んでいる所存であります。ほかにも、施設内照明のLED化や冷蔵庫扉周りのメンテナンス、利用者へ扉の確実な閉鎖の呼びかけ、庫内の積取り作業施工などを実施し、少しでも省電力に寄与すべく、日々努力研鑽させていただいております。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

当社は冷凍冷蔵倉庫の運営という、電力多消費業者でございます。現在のテクノロジー的にまだまだ代替エネルギーでは、必要量の電力を賄うことが出来ていない現状です。ただ、電力供給をさせていただいている東京電力(株)では、多種多様な方法での電力発電をなさっております。当社といたしましては、その技術革新の早期の実現に、期待と希望を寄せさせていただいているというのが現状でございます。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

(タイトル)	●●●●●(URL)
(タイトル)	●●●●●(URL)
(タイトル)	●●●●●(URL)

(注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。